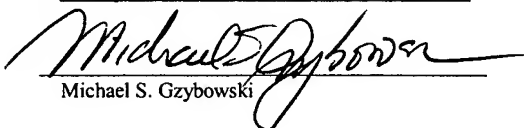


PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

<i>Group</i>		}	<u>Certificate Under 37 CFR 1.10</u>
<i>Art Unit:</i>	Unknown	}	'EXPRESS MAIL' MAILING LABEL NO:
		}	
<i>Attorney</i>		}	<u>EL697545512US</u>
<i>Docket No.:</i>	121027-198	}	
		}	DATE OF DEPOSIT: <u>September 24, 2003</u>
<i>Applicant:</i>	Hikari KAWATA et al.	}	I HEREBY CERTIFY THAT THIS PAPER OR FEE IS
		}	BEING DEPOSITED WITH THE UNITED STATES
<i>Invention:</i>	DISPOSABLE BODY FLUID	}	POSTAL SERVICE "EXPRESS MAIL POST OFFICE
	ABSORBENT PAD	}	TO ADDRESS" SERVICE UNDER 37 CFR 1.10 ON
		}	THE DATE INDICATED ABOVE AND IS
<i>Serial No:</i>	Unknown	}	ADDRESSED TO THE COMMISSIONER FOR
		}	PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA, VA
<i>Filing Date:</i>	September 24, 2003	}	22313-1450.
		}	on <u>September 24, 2003</u>
<i>Examiner:</i>	Unknown	}	
			Michael S. Gzybowski

CLAIM OF PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, applicants hereby claim priority of:

Japanese Patent Application No. 2002-285937

Filed September 30, 2002

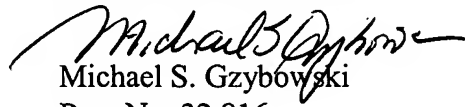
And

Japanese Patent Application No. 2003-125111

Filed April 30, 2003

Certified copies of the above priority documents are being submitted herewith.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Michael S. Gzybowski", with a long horizontal flourish extending to the right.

Michael S. Gzybowski

Reg. No. 32,816

BUTZEL LONG

350 South Main Street

Suite 300

Ann Arbor, Michigan 48104

(734) 995-3110

10124.1

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 9月30日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-285937

[ST.10/C]:

[JP 2002-285937]

出 願 人

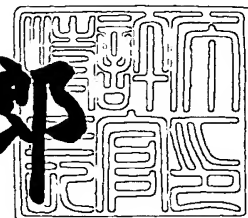
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2003年 5月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3038327

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL14P099

【提出日】 平成14年 9月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A41B 13/00
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【請求項の数】 6

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 河田 ひかり

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 中下 将志

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 山内 香

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て体液吸収パッド

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 縦方向に前後域と、前記前後域の間に位置する中間域とを備え、透液性表面シートおよび不透液性裏面シートと、前記表裏面シートの間に介在して前記前後域間に延びる吸液性コアとから構成され、前記コアの両端縁の外側に位置して横方向へ延びる前後端部と、前記コアの両側縁の外側に位置して縦方向へ延びる両側部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドにおいて、

前記裏面シートの外面を覆う外面シートが、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に配置され、前記外面シートが、前記パッドの両側部に固着された固定両側部と、前記固定両側部の間に位置して前記パッドから遊離する自由部とを有し、前記パッドの使用者がその手を挿入可能な挿入部が、前記裏面シートと前記外面シートとの間に形成されていることを特徴とする前記パッド。

【請求項 2】 前記外面シートが、前記前域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域から前記後域に向かって延びるとともに、前記パッドの後端部に固着された固定端部を有し、前記パッドでは、前記自由部が前記固定両側部と前記固定端部との間に位置し、前記挿入部が前記前域の側から前記後域の側へ向かって開口するポケットである請求項 1 記載のパッド。

【請求項 3】 前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる伸縮性弾性部材が、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に収縮可能に取り付けられている請求項 1 または請求項 2 に記載のパッド。

【請求項 4】 前記外面シートが位置する前記コアの部位には、前記外面シートの周縁近傍に沿って前記表面シートの側へ向かって隆起する隆起部が形成され、前記隆起部における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、該隆起部を除く前記コアの残余の部位のそれよりも大きい請求項 1 ないし請求項 3 いずれかに記載のパッド。

【請求項 5】 前記外面シートには、前記表裏面シートの色調と異なる色調の着色が施されている請求項 1 ないし請求項 4 いずれかに記載のパッド。

【請求項 6】 前記外面シートが、所定の表示要素を有する請求項 1 ないし

請求項 5 いずれかに記載のパッド。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使い捨て体液吸収パッドに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

縦方向に前後域と、前後域の間に位置する中間域とを備え、透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、表裏面シートの上に介在する吸液性コアとから構成され、横方向へ延びる両端縁部と、縦方向へ延びる両側縁部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドは公知である（特許文献 1 参照）。

【 0 0 0 3 】

特許文献 1 に開示のパッドの裏面シートには、環状の細長いゴムが取り付けられている。ゴムは、パッドの中間域における横方向中央に配置されている。ゴムは、縦方向両端部が裏面シートの外面に固着され、両端部間に延びる中央部が裏面シートに固着されておらず、裏面シートから遊離している。このパッドを使用するには、それをパンツの内側にのせた後にパンツを装着する。このパッドは、裏面シートの外面に取り付けられたゴムがパンツの内側に接するので、ゴムが滑り止めとなってパンツに対するパッドのずれを防ぐことができる。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 1 1 9 5 2 8 号公報（第 2 - 3 頁、第 1 図）

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

特許文献 1 に開示のパッドは、その使用にパンツを利用しなければならず、パッドを単独で使うことができない。また、このパッドは、その使用時にパッドをパンツにのせるだけなので、パッドそれ自体が使用者の肌に密着することではなく、パンツを介してパッドを使用者の肌に密着させる必要がある。このパッドは、パンツが使用者の股間部からずれ下がると、それとともにパッドも股間

部からずれ下がり、パッドが使用者の肌から離間してパッドに体液を吸収させることができない。

【 0 0 0 6 】

本発明の目的は、単独で 사용할 ことができ、パンツを介さずに使用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するための本発明の前提は、縦方向に前後域と、前記前後域の間に位置する中間域とを備え、透液性表面シートおよび不透液性裏面シートと、前記表裏面シートの間に介在して前記前後域間に延びる吸液性コアとから構成され、前記コアの両端縁の外側に位置して横方向へ延びる前後端部と、前記コアの両側縁の外側に位置して縦方向へ延びる両側部とを有する縦長の使い捨て体液吸収パッドである。

【 0 0 0 8 】

前記前提における本発明の特徴は、前記裏面シートの外面を覆う外面シートが、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域に配置され、前記外面シートが、前記パッドの両側部に固着された固定両側部と、前記固定両側部の間に位置して前記パッドから遊離する自由部とを有し、前記パッドの使用者がその手を挿入可能な挿入部が、前記裏面シートと前記外面シートとの間に形成されていることにある。

【 0 0 0 9 】

本発明の実施の態様の一例としては、前記外面シートが、前記前域と前記中間域とのうちの少なくとも該中間域から前記後域に向かって延びるとともに、前記パッドの後端部に固着された固定端部を有し、前記パッドでは、前記自由部が前記固定両側部と前記固定端部との間に位置し、前記挿入部が前記前域の側から前記後域の側へ向かって開口するポケットである。

【 0 0 1 0 】

本発明の実施の態様の他の一例としては、前記パッドの両側縁部に沿って縦方向へ延びる伸縮性弾性部材が、前記前後域と前記中間域とのうちの少なくとも該

中間域に収縮可能に取り付けられている。

【 0 0 1 1 】

本発明の実施の態様の他の一例として、前記外面シートが位置する前記コアの部位には、前記外面シートの周縁近傍に沿って前記表面シートの側へ向かって隆起する隆起部が形成され、前記隆起部における前記コアの表裏面シート間の厚み寸法が、該隆起部を除く前記コアの残余の部位のそれよりも大きい。

【 0 0 1 2 】

本発明の実施の態様の他の一例として、前記外面シートには、前記表裏面シートの色調と異なる色調の着色が施されている。また、前記外面シートが所定の表示要素を有する。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明に係る使い捨て体液吸収パッドの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 1 4 】

図 1， 2 は、一例として示すパッド 1 A の部分破断斜視図と、図 1 の I I - I I 線矢視断面図とであり、図 3 は、図 1 の I I I - I I I 線矢視断面図である。図 1 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。なお、表裏面シート 2， 3 や外面シート 1 1 の内面とは、コア 4 に対向する面をいい、それらシート 2， 3， 1 1 の外面とは、コア 4 に非対向の面をいう。

【 0 0 1 5 】

パッド 1 A は、肌当接側に位置する透液性表面シート 2 と、肌非当接側に位置する不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2， 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 A は、縦方向へ長い略矩形を呈し、縦方向に前域 5 および後域 7 と、前後域 5， 7 の間に位置する中間域 6 とを有する。パッド 1 A は、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置して横方向へ延びる前後端部 8， 9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。パッド 1 A には、裏面シート 3 の外側に位置してシート 3 の外面を覆う外面シート 1 1 が取り付けられている。コア 4 は、パッド 1 A の前後域 5， 7 間に延び、

表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。

【 0 0 1 6 】

中間域 6 の両側部 1 0 には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弾性部材 1 2 が収縮可能に取り付けられている。弾性部材 1 2 は、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、それらシート 2, 3 の内面に固着されている。弾性部材 1 2 は、中間域 6 のみならず、前域 5 と後域 7 とに延びていてもよい。図 1 では、弾性部材 1 2 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 A が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。

【 0 0 1 7 】

外面シート 1 1 は、中間域 6 から後域 7 に向かって延びるとともに、パッド 1 A の後端部 9 に達している。外面シート 1 1 には、実質的に非伸縮性の疎水性繊維不織布が使用されている。外面シート 1 1 は、前域 5 から後域 7 に向かって延びていてもよい。外面シート 1 1 には、表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施されている（着色の図示は省略）。たとえば、表裏面シート 2, 3 の色調が乳白色であれば、外面シート 1 1 の色調は赤色や青色、黄色である。外面シート 1 1 には、所定の表示要素 1 3 が形成されている。表示要素 1 3 は、外面シート 1 1 の外面に印刷された兎の顔のイラストである。表示要素 1 3 は、イラストの他に、文字や図形、記号であってもよい。

【 0 0 1 8 】

外面シート 1 1 は、パッド 1 A の両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、パッド 1 A の後端部 9 に固着された固定端部 1 5 と、固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 との間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 とでは、外面シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面にホットメルト型接着剤（図示せず）を介して固着されている。裏面シート 3 に対する外面シート 1 1 の固着には、接着剤の他に、熱融着手段を利用することもできる。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3 と外面シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、前域 5 の側から後域 7 の側へ向かって開口するポケット P（挿入部）が形成されている（図 2, 3 参照）。ポケット P は、後記するパッド 1 A の使用者 2 0 がその手 2 1 を入れることが可能な大きさ

を有する。

【 0 0 1 9 】

前後端部 8, 9 では、コア 4 の両端縁 4 a から縦方向外方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。両側部 1 0 では、コア 4 の両側縁 4 b から横方向外方へ延びる表裏面シート 2, 3 の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート 2, 3 の内面どうしが固着されている。

【 0 0 2 0 】

表裏面シート 2, 3 どうしの固着、表裏面シート 2, 3 に対する弾性部材 1 2 の固着、表裏面シート 2, 3 に対するコア 4 の接合には、それらシート 2, 3 の内面に断続的に塗布されたホットメルト型接着剤（図示せず）が使用されている。接着剤は、それらシート 2, 3 の内面にスパイラル状やジグザグ状、ドット状、縞状のうちのいずれかの態様で塗布されている。なお、接着剤は、表裏面シート 2, 3 のいずれか一方の内面に塗布されていてもよい。

【 0 0 2 1 】

図 4, 5 は、使用状態にあるパッド 1 A の斜視図と、廃棄するために折り畳まれた使用後のパッド 1 A の斜視図とである。図 4 では、パッド 1 A の使用者 2 0 を二点鎖線で示す。

【 0 0 2 2 】

パッド 1 A を使用するには、図 4 に示すように、使用者 2 0 がポケット P（挿入部）に手 2 1 を入れ、中間域 6 が股間部 2 3 に位置するように、パッド 1 A の表面シート 2 を自分の肌にあてがう。パッド 1 A は、前域 5 が使用者 2 0 の腹部 2 2 の側に当接し、後域 7 が使用者 2 0 の臀部 2 4 の側に当接するとともに、中間域 6 が使用者 2 0 の股間部 2 3 に当接する。使用者 2 0 は、パッド 1 A をあてがった状態で表面シート 2 上に排尿する。尿は、表面シート 2 を透過してコア 4 に吸収、保持される。

【 0 0 2 3 】

パッド 1 A は、それを使用者 2 0 自身が自分の肌にあてがうので、パッド 1 A を排尿位置に正確に密着させることができ、尿をパッド 1 A に確実に吸収させる

ことができる。使用者 2 0 は、ポケット P に手 2 1 を入れてパッド 1 A を保持することができるので、肌にあてがったパッド 1 A が股間部 2 3 から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 2 4 】

パッド 1 A は、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッド 1 A を肌に密着させる必要はない。パッド 1 A は、その使用にパンツを利用する必要はなく、ポケット P に手を入れてパッド 1 A を肌にあてがうだけなので、パッド 1 A の使用が簡単であることはもちろん、パッド 1 A 単独の使用が可能である。

【 0 0 2 5 】

パッド 1 A では、外面シート 1 1 に表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施され、かつ、兎の顔のイラストが印刷されているので、使用者 2 0 が肌にあてがうべき面（表面シート 2）を間違えることはなく、さらに、ポケット P の存在を容易に認識することができる。

【 0 0 2 6 】

使用後のパッド 1 A を廃棄するには、図 5 に示すように、パッド 1 A を前域 5 から後域 7 に向かって縦方向へ折り畳み、外面シート 1 1 の内面が外側となるように外面シート 1 1 の内外面を反転させ、外面シート 1 1 と表面シート 2 との間に形成されるポケット P に折り畳まれたパッド 1 A を収納する。使用後のパッド 1 A は、ポケット P によってその折り畳まれた状態が保持されるので、パッド 1 A を折り畳まれた状態のまま廃棄することができる。

【 0 0 2 7 】

図 6, 7 は、他の一例として示すパッド 1 B の部分破断斜視図と、図 6 の V I I - V I I 線矢視断面図とであり、図 8 は、図 6 の V I I I - V I I I 線矢視断面図である。図 6 では、横方向を矢印 X、縦方向を矢印 Y で示し、厚み方向を矢印 Z で示す。

【 0 0 2 8 】

パッド 1 B は、透液性表面シート 2 と、不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成されている。パッド 1 B は、縦方向に前後域 5, 7 および中間域 6 を有し、コア 4 の両端縁 4 a の外側に位置し

て横方向へ延びる前後端部 8, 9 と、コア 4 の両側縁 4 b の外側に位置して縦方向へ延びる両側部 1 0 とを有する。

【 0 0 2 9 】

パッド 1 B には、裏面シート 3 の外面を覆う外面シート 1 1 が取り付けられている。中間域 6 の両側部 1 0 には、縦方向へ延びる複数条の伸縮性弾性部材 1 2 が収縮可能に取り付けられている。図 6 では、弾性部材 1 2 が縦方向内方へ収縮し、パッド 1 B が表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲している。コア 4 は、パッド 1 B の前後域 5, 7 間に延び、表裏面シート 2, 3 の内面に接合されている。

【 0 0 3 0 】

外面シート 1 1 は、中間域 6 に配置されている。外面シート 1 1 には、弾性的な伸縮性を有する疎水性繊維不織布が使用されている。外面シート 1 1 は、前後域 5, 7 と中間域 6 とのうちの少なくとも中間域 6 に配置されていればよい。外面シート 1 1 の色調は、表裏面シート 2, 3 の色調と同一である。

【 0 0 3 1 】

外面シート 1 1 は、両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、固定両側部 1 4 の間に位置する自由部 1 6 とを有する。固定両側部 1 4 では、外面シート 1 1 の内面が裏面シート 3 の外面にホットメルト型接着剤（図示せず）を介して固着されている。自由部 1 6 は、裏面シート 3 に固着されておらず、裏面シート 3 から遊離している。裏面シート 3 と外面シート 1 1 の自由部 1 6 との間には、パッド 1 B の使用者 2 0 がその手 2 1 を入れることが可能な大きさの挿入部 1 7 が形成されている（図 7, 8 参照）。

【 0 0 3 2 】

外面シート 1 1 の固定両側部 1 4 を裏面シート 3 に固着するときは、外面シート 1 1 が横方向へ非伸長状態にある。なお、外面シート 1 1 を横方向へ伸長させた状態で固定両側部 1 4 を裏面シート 3 に固着してもよい。

【 0 0 3 3 】

外面シート 1 1 が位置するコア 4 の部位には、外面シート 1 1 の周縁近傍に沿って表面シート 2 の側へ向かって隆起する隆起部 1 8 が形成されている。隆起部

18におけるコア4の表裏面シート2, 3間の厚み寸法は、隆起部18を除くコア4の残余の部位のそれよりも大きい。隆起部18は、実質的に環状を呈する。

【0034】

前後端部8, 9では、表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。両側部10では、表裏面シート2, 3の部分が互いに重なり合い、部分においてそれらシート2, 3の内面どうしが固着されている。

【0035】

このパッド1Bを使用するには、図4と同様に、使用者20が挿入部17に手21を入れ、中間域6が股間部23に位置するように、パッド1Bの表面シート2を肌にあてがう。パッド1Bは、前域5が使用者20の腹部22の側に当接し、後域7が使用者20の臀部24の側に当接するとともに、中間域6が使用者20の股間部23に当接する。使用者20は、パッド1Bをあてがった状態で隆起部18に囲繞された部位19に排尿する。尿は、表面シート2を透過してコア4に吸収、保持される。パッド1Bでは、コア4に形成された隆起部18が尿に対する障壁を形成するので、部位19に排泄された尿のパッド1Bの外側への漏れを防ぐことができる。

【0036】

パッド1Bは、それを使用者20自身が自分の肌にあてがうので、パッド1Bを排尿位置に密着させることができ、尿をパッド1Bに確実に吸収させることができる。使用者20は、挿入部17に手21を入れてパッド1Bを保持することができるので、肌にあてがったパッド1Bが股間部23から不用意に落ちてしまうことはない。

【0037】

パッド1Bは、その使用にパンツを利用する必要はなく、挿入部17に手21を入れてパッド1Bを肌にあてがうだけなので、パッド1Bの使用が簡単であることはもちろん、パッド1B単独の使用が可能である。パッド1Bは、外面シート11に伸縮性の繊維不織布が使用されているので、挿入部17に入れた手21が外面シート11に締め付けられ、手21が挿入部17から簡単に抜けてしまう

ことはない。

【 0 0 3 8 】

使用後のパッド 1 B を廃棄するには、図示はしていないが、パッド 1 B を前域 5 から後域 7 に向かって縦方向へ折り畳み、外面シート 1 1 の内面が外側となるように外面シート 1 1 の内外面を反転させ、表面シート 2 と外面シート 1 1 との間に折り畳まれたパッド 1 B を収納する。

【 0 0 3 9 】

表面シート 2 には、親水性繊維不織布、多数の開孔を有する疎水性繊維不織布、微細な多数の開孔を有するプラスチックフィルムのいずれかを使用することができる。裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布、通気不透液性プラスチックフィルム、疎水性繊維不織布どうしをラミネートした複合不織布、疎水性繊維不織布と通気不透液性プラスチックフィルムとをラミネートした複合シートのいずれかを使用することができる。外面シート 1 1 には、親水性繊維不織布や通気不透液性プラスチックフィルム、伸縮性プラスチックフィルムのいずれかを使用することもできる。

【 0 0 4 0 】

不織布には、スパンレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンド、エアースルー、の各製法により製造されたものを使用することができる。不織布の構成繊維には、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系、の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンやポリエチレン／ポリエステルからなる芯鞘型複合繊維または並列型複合繊維を使用することができる。

【 0 0 4 1 】

伸縮性繊維不織布には、メルトブローンやスパンボンドの各製法により製造されたものを使用することができる。伸縮性不織布の構成繊維には、熱可塑性エラストマー樹脂を溶融、紡糸した伸縮性繊維を使用することができる。伸縮性繊維不織布には、熱可塑性エラストマー樹脂繊維からなる伸縮性かつ疎水性繊維不織布の少なくとも片面に、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、のいずれかの熱可塑性合成樹脂を溶融、紡糸した捲縮繊維からなる疎水性繊維不織布を

重ね合わせた複合不織布を使用することもできる。

【 0 0 4 2 】

コア 4 は、フラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物、または、フラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂繊維との混合物であり、所定の厚みに圧縮されている。コア 4 は、その型崩れやポリマー粒子の脱落を防止するため、全体がティッシュペーパーや親水性繊維不織布等の透液性シートに包被されていることが好ましい。ポリマー粒子としては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。

【 0 0 4 3 】

図 1 のパッド 1 A では、図 6 のそれと同様に、外面シート 1 1 が位置するコア 4 の部位に外面シート 1 1 の周縁近傍に沿って表面シート 2 の側へ向かって隆起する隆起部 1 8 が形成されていてもよい。また、図 1 のパッド 1 A は、外面シート 1 1 が弾力的な伸縮性を有する繊維不織布から形成されていてもよい。

【 0 0 4 4 】

図 6 のパッド 1 B は、外面シート 1 1 に表裏面シート 2, 3 の色調と異なる色調の着色が施されていてもよく、外面シート 1 1 にイラストや文字、図形、記号等の表示要素 1 3 が形成されていてもよい。パッド 1 B の外面シート 1 1 に着色が施されるとともに表示要素 1 3 が形成されると、使用者 2 0 が肌にあてがうべき面（表面シート 2）を間違えることはなく、挿入部 1 7 の存在を容易に認識することができる。

【 0 0 4 5 】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て体液吸収パッドによれば、使用者自身が挿入部（ポケット）に手を入れてパッドを自分の肌にあてがうので、パッドを排尿位置に正確に密着させることができ、尿をパッドに確実に吸収させることができる。使用者は、挿入部に手を入れてパッドを保持することができるので、肌にあてがったパッドが股間部から不用意に落ちてしまうことはない。

【 0 0 4 6 】

このパッドは、従来技術のそれと異なり、パンツを介してパッドを肌に密着さ

せる必要はない。このパッドは、その使用にパンツを利用する必要はなく、挿入部に手を入れてパッドを肌にあてがうだけなので、パッドの使用が簡単であることはもちろん、パッド単独の使用が可能である。

【 0 0 4 7 】

外面シートが位置するコアの部位に隆起部が形成されたパッドでは、隆起部が尿に対する障壁となり、排泄された尿のパッドの外側への漏れを防ぐことができる。

【 0 0 4 8 】

外面シートに表裏面シートとは異なる色調の着色が施されたパッドまたは外面シートが所定の表示要素を有するパッドでは、使用者がパッドの肌にあてがうべき面（表面シート）を間違えることはなく、さらに、挿入部（ポケット）の存在を容易に認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 2】

図 1 の I I - I I 線矢視断面図。

【図 3】

図 1 の I I I - I I I 線矢視断面図。

【図 4】

使用状態にあるパッドの斜視図。

【図 5】

廃棄するために折り畳まれた使用後のパッドの斜視図。

【図 6】

他の一例として示すパッドの部分破断斜視図。

【図 7】

図 6 の V I I - V I I 線矢視断面図。

【図 8】

図 6 の V I I I - V I I I 線矢視断面図。

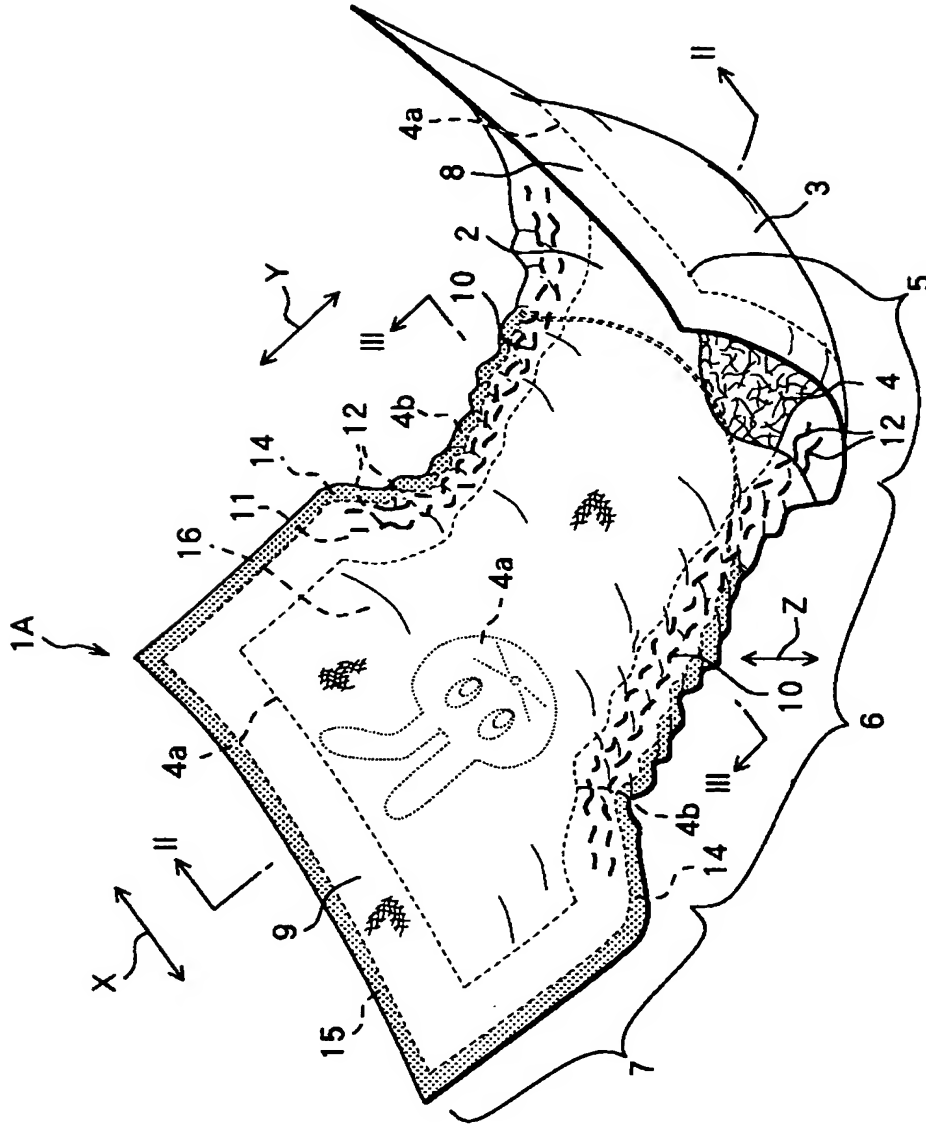
【符号の説明】

1 A	使い捨て体液吸収パッド
1 B	使い捨て体液吸収パッド
2	透液性表面シート
3	不透液性裏面シート
4	吸液性コア
4 a	両端縁
4 b	両側縁
5	前域
6	中間域
7	後域
8	前端部
9	後端部
1 0	両側部
1 1	不透液性外面シート
1 2	伸縮性弾性部材
1 3	表示要素
1 4	固定両側部
1 5	固定端部
1 6	自由部
1 7	挿入部
1 8	隆起部
P	ポケット

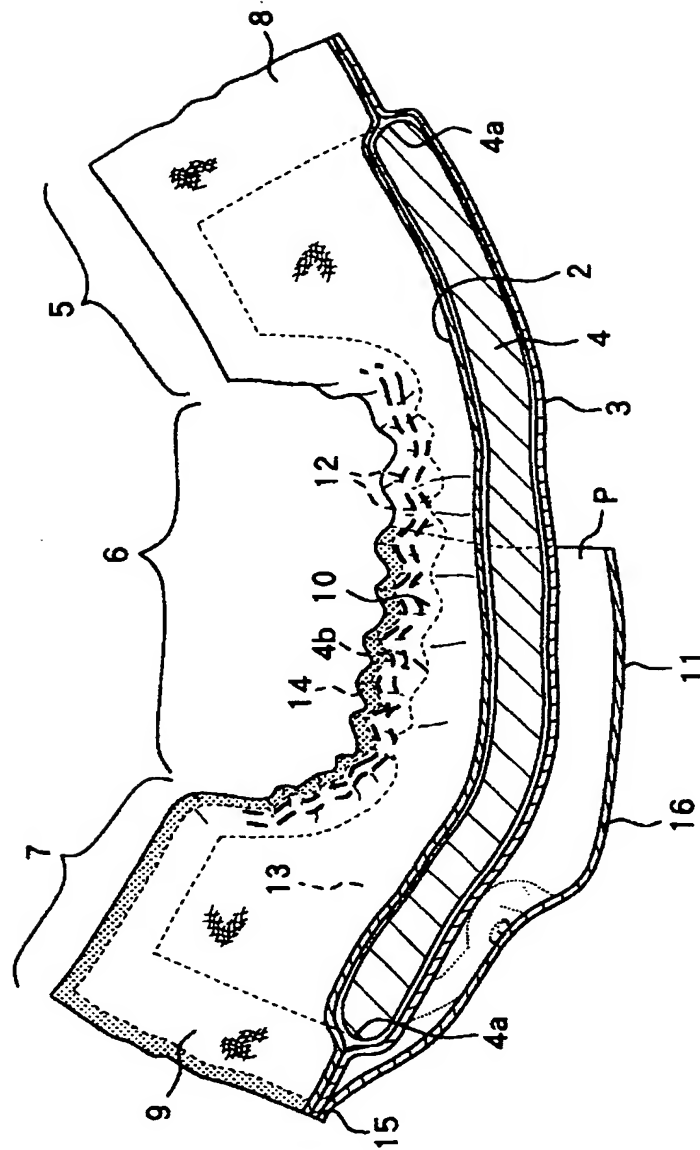
【書類名】

図面

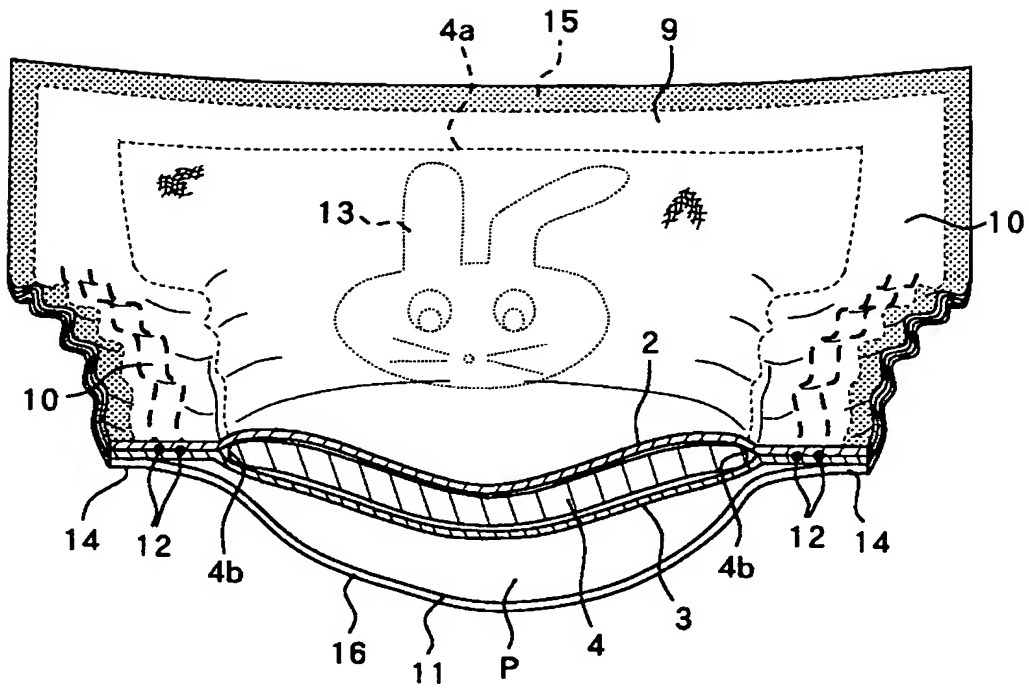
【図1】



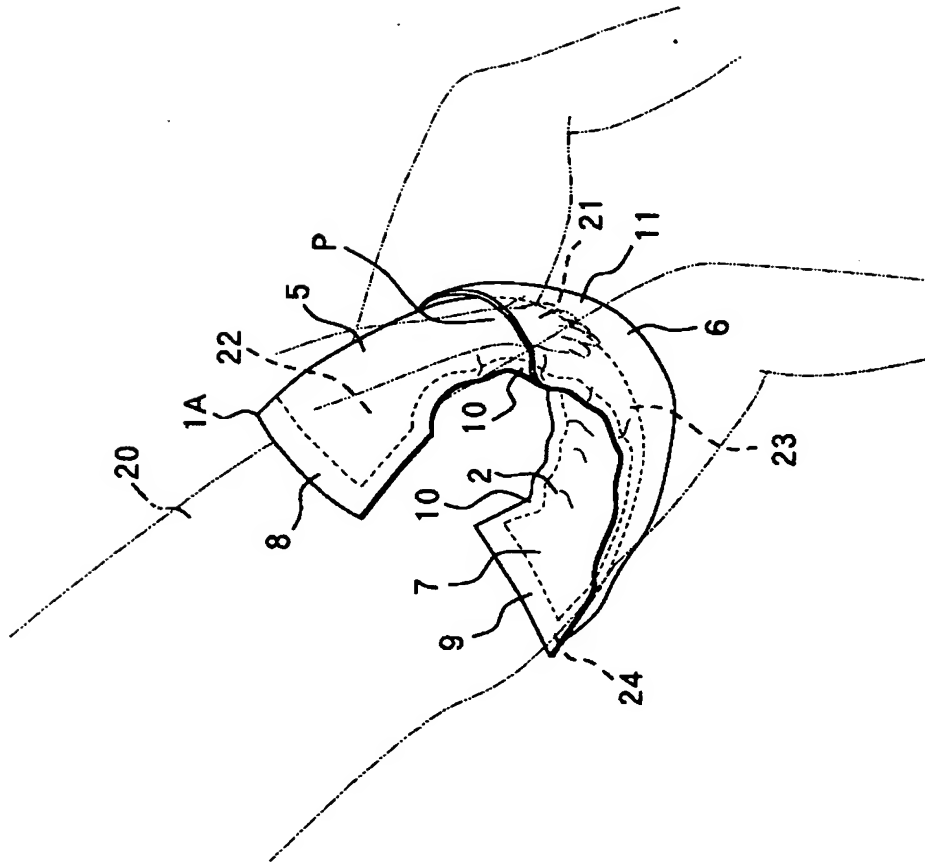
【図 2】



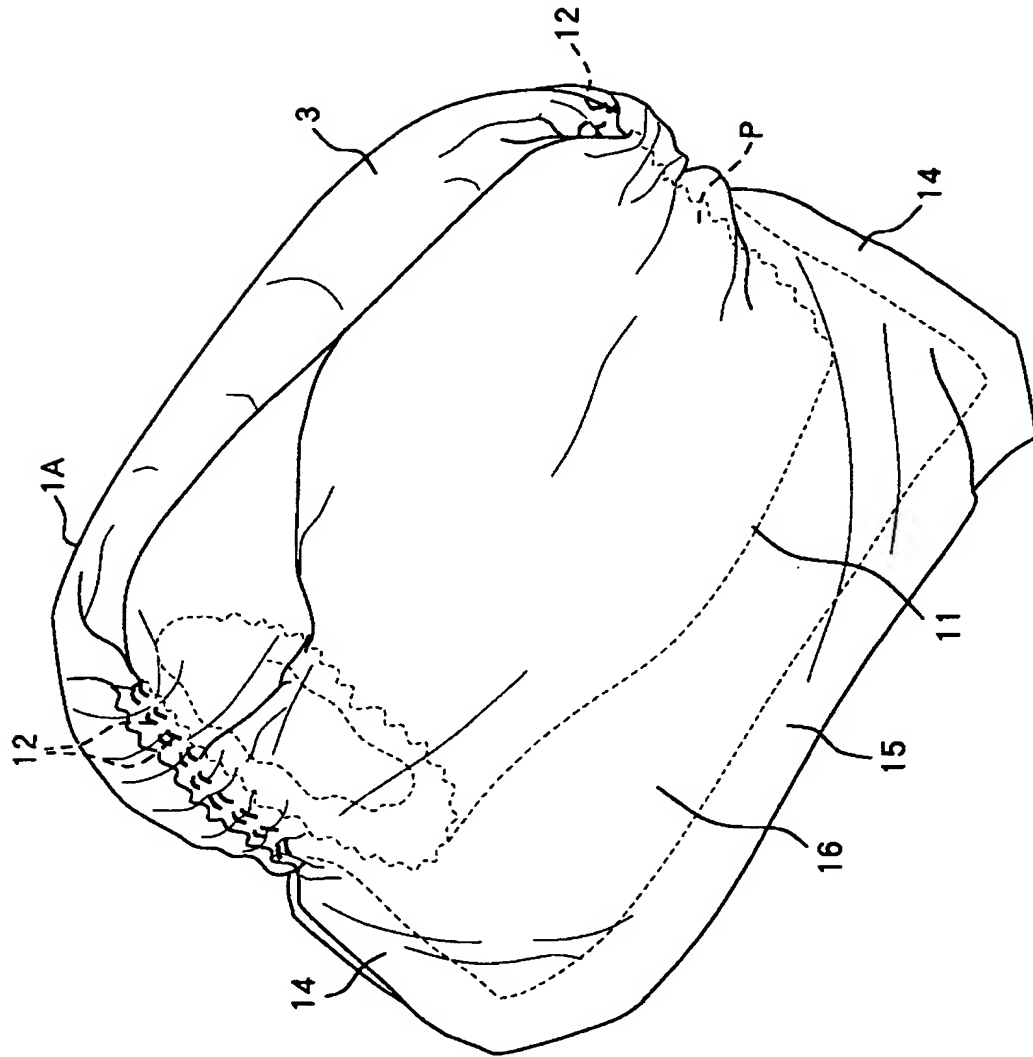
【図 3】



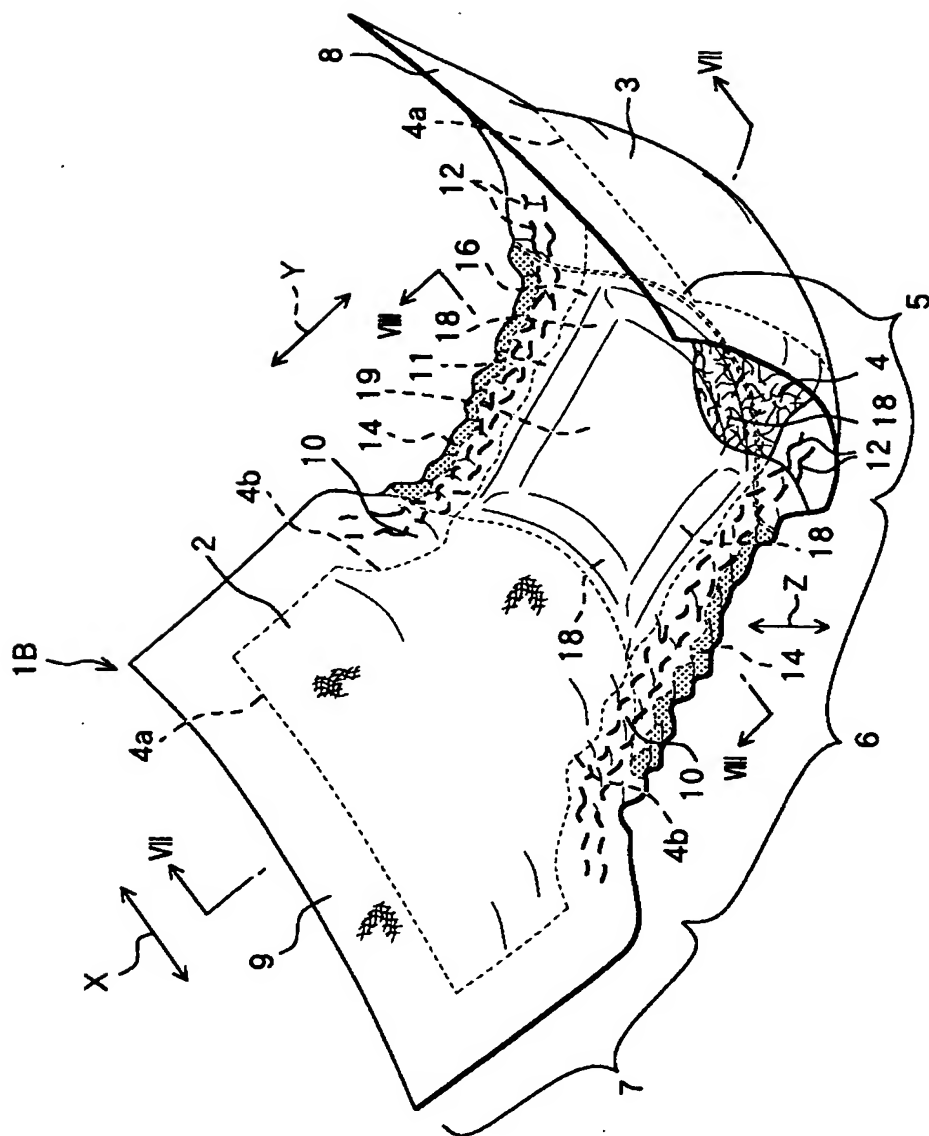
【図 4】



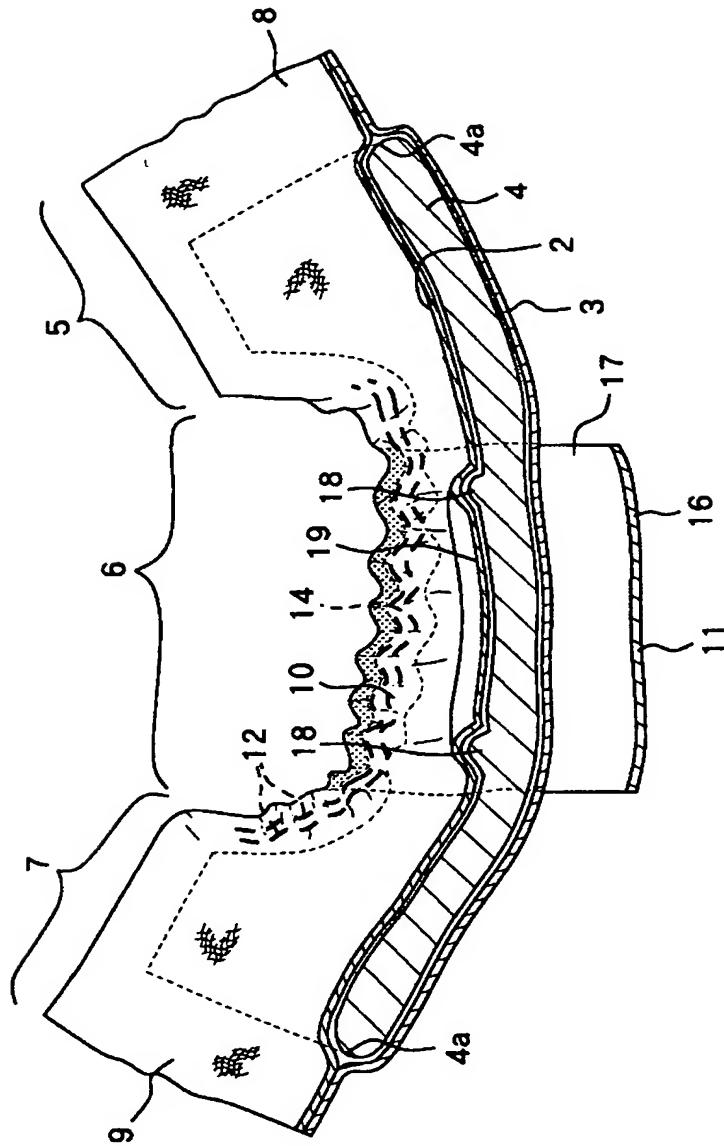
【図5】



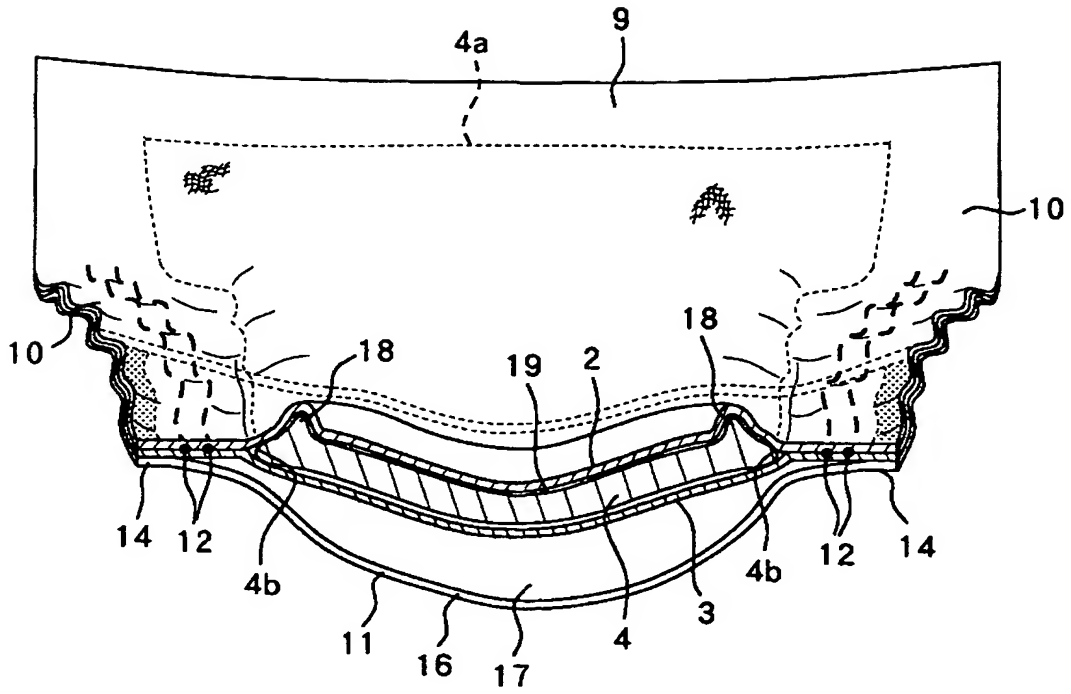
【図6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 単独で使うことができ、パンツを介さずに使用者の肌に密着させることができる使い捨て体液吸収パッドを提供する。

【解決手段】 透液性表面シート 2 および不透液性裏面シート 3 と、表裏面シート 2, 3 の間に介在する吸液性コア 4 とから構成された縦長の使い捨て体液吸収パッド 1 A であり、裏面シート 3 の外面を覆う外面シート 1 1 が、パッド 1 A の中間域 6 から後域 7 に向かって延び、外面シート 1 1 が、パッド 1 A の両側部 1 0 に固着された固定両側部 1 4 と、パッド 1 A の後端部 9 に固着された固定端部 1 5 と、固定両側部 1 4 と固定端部 1 5 との間に位置してパッド 1 A から遊離する自由部 1 6 とを有し、前域 5 の側から後域 7 の側へ向かって開口するポケットが、裏面シート 3 と外面シート 1 1 との間に形成されている。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名	ユニ・チャーム株式会社